

書院・庫裡新築境内整備事業を終えて

梅月山華嚴院住職 末永昌一様

現存した書院・庫裡は宝暦年間（一七五五年）に建立され、今般二五〇年ぶりの建て替えです。平成一九年（二〇〇七年）六月、住職の入寺に伴い書院・庫裡建設の機運に恵まれ、それから七年後の平成二六年（二〇一四年）四月、落慶の運びとなりました。

建設計画を始めるに当り、寺社建設で信用実績のある(株)天峰建設社長の澤元教哲氏に來山を願い、現状をご覧の上、アドバイスをいただき、護持会役員と共に幾度か意見を交わし、建設の方向づくりをしていただいたのが最初でした。厳しい社会情勢の中、計画案に対し批判や厳しいご意見も多々いただきましたが、役員一同が書院・庫裡新築・境内整備事業を何としても実現したいと、心を一つに推進していただき、平成二一年三月建設委員会設立、七月設計事務所依

頼決定。平成二

二年十一月指名業者四社の合見積で(株)天峰建設を業者に決定。平

成二三年六月解体、九月には台風十五号の直撃に遭い境内の樹齢数十年の杉、松が十数本根こそぎ倒れ、解体現場の足場が壊れ、墓石の倒壊、参道のコンクリートも歪み、自然災害の恐ろしさを目の当たりにし、残った杉・松の殆どを伐採し境内は一変しました。

当寺は山の谷間に位置し建設現場の北側、特に東側急傾斜面の擁壁や、山水の処理等ご苦労が多かったと思います。付帯工事として本堂の修復。位牌堂防水・外壁塗装。鐘楼解体移設工事。山門修復。山門脇築地塀新築。外トイレ新築。裏庭造園。中庭造園。裏山樹木伐採工事。駐車場整備。その他境内整備等。大事業となりました。本体工事につきましては、古い大黒柱、松の梁材、欄間など再利用していただき大変満足です。訪れる方々より、良質の材料と技術の良さを褒めていただき、大変ありがたく思います。特に棟梁さんの仕事に対する情熱、深い知識、卓越した技術。また現場監督さんには全て施主の身にな

って対処していただき、毎日のトイレ掃除や、境内掃除まで、雨風時間をいとわず、この三年間ほとんどの時間を華嚴院の為に費やしていただき、頭の下がる思いです。関連業者の皆様にも大変誠意ある仕事をしていただき、(株)天峰建設にお願いして本当に良かったなと心から感謝いたします。

七年間ご苦労をお掛けした役員各位、檀信徒各位の菩提寺に対するお気持ち、ご協力に衷心より感謝申し上げます。この勝縁を有難く受け止めております。全ての工事が終わった今、境内に静寂が戻り、蟬の鳴き声と、池の鯉が跳ねる音だけが響きます。

合 掌



あたらしくなった華嚴院様書院

中遠建築職業訓練校で新校舎の地鎮祭を行う

弊社社長の澤元教哲が長年にわたり協会長の役職についている、職業訓練法人中遠建築職業訓練協会・中遠建築高等職業訓練校（磐田市西貝塚）の新校舎の地鎮祭が、七月二十日に鎌田神明宮の宮司によって執り行われました。昭和四九年に建てられた現在の校舎の老朽化と、近い将来起こるといわれている東海地震に備えて建て直しが決まりました。

建て直しが決まっても、資金面で一番苦労しました。磐田市・袋井市・森町へ資金援助をお願いし、各建築組合に加入している組合員の寄付そしてお付き合いのある、外注業者の方にもご協力をお願いしてまわりました。社長も今回は建設委員長も兼ねているので、御寺院の建設委員長さんの大変さが身にしみてわかったようです。まだまだ資金面では大変ですが、皆様のご協力のもとに今回の地鎮祭を迎えることができました。当日は梅雨明け後の青空が広がる中、来賓として磐田市長・袋井副市長・磐田商工会議所会頭など組合員も合わせて四十名以上のかたに出席

していただき工事の安全を祈願いたしました。

皆様は中遠建築高等職業訓練校といわれても、わからないと思いますのでここで少し学校の紹介をさせていただきます。昭和二六年に磐田市技能者養成会として設立され、昭和四四年に職業訓練法人中遠建築職業訓練協会が設立され、中遠建築高等職業訓練校に改称され現在に至ります。木材本来の特性を生かした住まい造りのために、若者の教育に力を入れ昔からの伝統技術を継承し、木造建築の技能士の育成に力をいれています。技能五輪の全国大会にも毎年出場しており、過去には優勝・三位・敢闘賞などの優秀な成績を残しています。普通の学校とは違い、生徒は各事業所に勤めながら一週間に一度通学し、木造建築の伝統工法を基礎から三年間学びます。多い時には一年から三年まで百名ほどいましたが、現在は一年〜三年まであわせて七名になってしまいました。弊社の大工も全員ここで基礎を学び実際の仕事に生かしております。

木造の伝統工法がわからないと、新築工事ができないだけでなく現在の木造建築のメンテナンスや増改築ができなくなってしまう。ということは十数年後には私たちが住んでいる建物が危ないということです。そして先輩たちが残してくれた伝統の火を消さないように頑張ってお守りしていかなければならないのです。完成は来年の三月で四月から新しい校舎での勉強ができるようになります。



「管理責任」

日本テンプルヴァン(株)井上拓郎

「境内での管理責任」

ご寺院において8月、9月は、お盆やお彼岸で大勢の方が参拝に來られる時期かと思えます。境内ではご寺院の管理上の不備等で第三者へ損害を与えてしまった場合には、管理責任が発生します。そして寺院側に過失がある場合は、被害者に対して賠償をしなければなりません。たとえば「境内の木が折れて落下し、たまたま通りかかったお檀家さんに当たってしまい、怪我をさせてしまった」といった場合、境内地の管理責任は、その境内を所有するご寺院にあります。この様な場合、境内を管理するご寺院が安全管理を怠ったという過失による賠償義務が生じる可能性があります。

過去に同様のケースでお子様が亡くなられた事故が発生し、刑事事件として立件された事故がありましたので、ご紹介したいと思います。

岐阜県大垣市で公園を管理する一般社団法人が、公園内にてイベントを企画し

ました。そのイベント当日、参加された6歳の女兒の頭部に、突然落ちてきた木の枝（長さ3・5メートル、太さ5センチ、重さ約5キロ）があたってしまった、その後死亡するとう痛ましい事故がありました。事故後に県警は捜査をし、一般社団法人側が安全配慮を怠ったとして、法人の職員を業務上過失致死容疑で書類送検をしました。

木の枝が自然に落下して起きた事故で刑事事件として立件されることは、非常に稀な事だと思えます。

今回は一般社団法人の公園を管理する立場にある職員が書類送検されましたが、公園と同様に沢山の木々が境内にあるご寺院も、この様な事故が起こる可能性はゼロではありません。

「個人情報管理責任」

お盆やお彼岸にご寺院に伺うと、本堂内に年回表や、寄付者一覧表などが張り出されているところを目にします。実はこの年回表や寄付者一覧表は、お檀家さんの大事な個人情報に該当する事があります。氏名、住所、寄付の金額など個人を特定できる形で書かれている場合、そ

れは立派な個人情報です。例えば、年回表からは、法事を行なう時期が分かる為、仕出し業者、記念品業者が営業に利用できます。また寄付者一覧表などは、銀行、証券会社、保険会社といった金融機関が、高額寄付者を営業先に選定する為に利用したりしています。東京など人口が多いところでは、名前（名字のみ）と住所（市区町村までの表記）だけでは、個人を特定することは難しいと思いますが、地方では「〇〇町の〇〇さん」と言う情報だけで、個人を特定できる場合もあります。

最近では、ベネッセホールディングスの個人情報漏えい事件がニュースでも取り上げられましたが、漏えいした情報2000万件に対し、お詫びの品や補償などに充てる為、260億円の特別損益を計上しました。

ご寺院の場合では、ここまでの件数の漏洩になることは無いと思いますが、個人情報を含む氏名や住所などを掲載する場合には、どの部分まで掲載するかを、お檀家さんに事前に確認を取るなどの配慮が必要と思われる。

いざという時に役に立つ

昨年の台風二六号により伊豆大島の三原山の外輪山の中腹が崩落して、土石流が発生し大きな被害が出たばかりなのに、今年も八月に広島県広島市で大規模な土砂災害が起こっていました。八月二〇日深夜の記事的な豪雨により、同時多発的に土石流が発生し、大勢の方が犠牲になり、そして家を流されてしまった方も沢山います。皆さんもテレビ・新聞のニュース等でご覧になり驚くばかりだと思えます。

このように最近では雨の降り方が予想を超えて降るようになったような気がします。これは広島市に限らず、日本全国どこでも起こりうることではないでしょうか。その時のために普段の心掛けや、いざというときの心がけをいくつかご紹介します。

報道される雨量を知ろう

※一時間雨量十〜二十mm

雨の音がうるさい程度

※一時間雨量二十〜三十mm

いわゆる土砂降り

※一時間雨量三十〜五十mm

バケツをひっくり返したような雨

※一時間雨量五十〜八十mm

滝のように降る雨

行政のホームページなどから自分の住む地域の水害に対する危険度を把握しましょう。降り始めから百mm以上の降雨量となったら注意しましょう。

ガケ崩れの前兆を知っておこう

- ・崖から小石がパラパラ落ちてくる。
 - ・湧水が以上に濁る。
 - ・普段でないところから水が出る。
 - ・普段湧いている水がとまる。
 - ・石がボロボロ落ちてくる。
 - ・木の根が切れるような音がする。
 - ・斜面に亀裂が入っている。
- 梅雨や台風の時には雨の降り方に注意してください。

土石流の前兆に気をつけよう

- ・雨が降り続けているのに川の水かさが増えている
 - ・川が濁っていたり、流木が流されている。
 - ・山鳴りがする。
- 土石流は車なみのスピードで家や畑を壊滅させます。土石流は予測が難しいので、早めの避難を心がけま

よう。

豪雨の時は川に近づかないように小川・農業用水・側溝・親水公園などは、豪雨による増水で危険な状態になります。マンホールの蓋が増水した水で押し上げられ、冠水した道路を歩く人がマンホールに転落する事故も起きています。冠水した道路を歩くときは、水が入ると脱げやすくなる長靴より、底の厚い運動靴で、足元を確認しながら歩くのがおすすめです。

これから秋の長雨や、台風の季節になります。気象予報が発達しても、このような災害は防ぐことはなかなかできません。危険な地域にお住まいの方は、早めの避難を心がけるようにしましょう。いざという時に。

